

児童生徒が主体的な学習活動を通して課題解決を図ることができるように、既習の知識と技能を関連付けた指導過程を工夫し、「思考力、判断力、表現力等」を育成しながら、全ての児童生徒に運動の楽しさや喜びを味わわせる授業づくりを目指しましょう。

**Point 1** 既習の知識と技能、運動の行い方などを確認し、自己やグループの能力に適した課題を見付けることができるようにする。

**Point 2** 技能のポイントと照らし合わせて、課題に応じた練習の場や練習方法を選んだり、作戦等を工夫したりしながら、話し合い活動や課題練習ができるようにする。

**Point 3** 観察し合って見付けたコツや分かったことを動作や言葉、絵図、ICT機器等を用いて伝え合うことができるようにする。

**Point 4** 自己や仲間の動きの変化や伸びを見付けたり、考えたりしたことを、学習カードに書いたり、振り返りの時間に発表したりできるようにする。

小学校第5学年 C 陸上運動「ア 短距離走・リレー」の授業例（7／9）



《ねらい》チームのタイムを縮めるために、バトンの受け渡し方や練習方法を工夫することができる。

〈導入〉 Point1・Point3・Point4

- ・前時の動画や振り返りの活用
- ・児童とつくる課題設定

前の時間の動画や学習カードを見て、チームの課題はどんなことだと思いましたか？

バトンがうまくつながらず、タイムが縮まらないことです。

スタートが遅れて、2人のバトンパスのタイミングが合わないことです。

どのチームも、バトンパスに課題があるみたいだね。今日の学習課題はどうなるかな？

**配慮点** 児童から課題を引き出し、必要感をもたせる学習課題を設定しましょう。

〈展開〉 Point2・Point3

- ・資料の活用 ・仲間の動きとの比較
- ・技能を見合うポイントの確認

資料に、スタートマークを付けるといいと書いているよ。

そうだね。コーンを目印に置いて合わせてみようか。

Bさんは、前足に重心をかけて低い姿勢で構えてみたら？

班員で互いにタイミングを見たりポイントを教え合ったりしているね。手の位置や高さにも注目してみるといいよ。

**配慮点** よい練習をしているチームの紹介や仲間の動きのどこを見てアドバイスするとよいかなど、適宜助言をしましょう。

〈終末〉 Point3・Point4

- ・学習カードの活用 ・振り返り
- ・成果の確認

工夫して練習したことや新たに気付いたことを発表しよう。

学習カードで今までの記録と比べたら、練習の成果が出てタイムが縮んだのでうれしいです。

Dさんからのアドバイスで、前足に重心をかけて構えたら、遅れずにスタートができました。

前の人のスピードに合わせてコーンの位置を変えたら、スピードを落とさずにもらえました。

**配慮点** 互いの学びを共有したり、自己の変容に気付かせたりするようにしましょう。